

校長室だより No.35 8月4日(火)

指導するのは高校生(安来市小学校教員プログラミング研修)

ようやく安来市でも例年より遅い夏休みが始まったところですが、教員にとっては日頃できない研修などがここぞとばかりに実施される時期でもあります。さっそく昨日は本校に安来市内小学校の先生30名が集まり、今年度から小学校で正式導入されている「プログラミング」の授業の研修会が行われました。

この研修会は今年度発足した[情報科学高等学校魅力化コンソーシアム](#)の「IT Kids 安来部会」が計画したもので、安来市内の小中学生のITスキル向上をめざし、安来市教育委員会と情報科学高校が協力して実施しています。

今回は小学校理科の「電気」の単元等を想定し、本校商業科の福間教諭、吉田教諭が教材選定や指導方法の研究を行い、小学校の先生方に実際に体験してもらいました。使用教材はSONYのMESHとmicro:bit(マイクロビット)という教育向けマイコンボード。普段、私たちが日常生活の中で使っているエアコンや炊飯器、ゲームのコントローラー、人感センサーライトなどの機器がプログラミングによって自動制御されていることを学ぶ内容でした。難しい課題もありましたが、それぞれプログラミング教育の根幹である「Trial & Error」を実体験しながら熱心に取り組まれていました。このように小学校の先生自らがプログラミングの面白さを体験し、それを小学生たちに伝えていただくことが「IT City 安来」実現へと繋がっていくと考えています。

さて、今回の研修会のねらいは実はもう一つあります。それは研修のサポーターとして参加している本校生徒(情報科学部員)のスキルアップです。高校生が大人の方に指導をするという経験はなかなかできるものではありません。場合によっては自分が小学校時代に教えてもらった先生に対して「教える」という場面もあり、生徒は緊張しながらも自らの役目をきっちりと果たしていたと思います。見学に来ていた本校の1年学年主任が「授業中とは全然違った積極的な態度に驚いた」と言っていました。自分の得意な分野で自己有用感を感じ、自信を深めていってほしいと願っています。

[MESH](#) (公式サイトにリンクします)

2015年に開発されたIoTガジェット。さまざまな機能を持ったブロック形状の“MESH タグ”を“MESH アプリ”でつなげることで、あなたの「あったらいいな」を実現できる製品

[micro:bit](#) (公式サイトにリンクします)

イギリスのBBCが主体となって作った教育向けのマイコンボード。英国では11歳~12歳の子供全員に無償で配布されており、授業の中で活用が進んでいる。



教材：MESHにて生徒が小学校教員に指導



教材：micro:bit にて生徒が小学校教員に指導